

まち・ひと・しごと創生法 地方創生

令和4年度

地方創生応援税制
(企業版ふるさと納税)

取組事業結果

鈴 鹿 市

1. 制度概要・経緯

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除する制度であり、寄附額に対し、最大9割の税額控除が可能となります。

令和2年度に地方創生応援税制に係る国の制度が改正されたことに伴い、地方版総合戦略を基にした計画を策定することで、幅広く市の事業に企業からの寄附金を充当できるようになりました。本市でも令和3年7月9日に国から計画の認定を受け、企業からの寄附による事業を実施しています。

なお、この制度を利用できる企業は市外に本社を置く企業に限られます。

2. 寄附対象事業

(1)	事業	安心して妊娠・出産・子育てができる社会の実現事業
	担当課	教育支援課
	実施した事業内容	当市において不登校の未然防止・早期対応、及び不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けた教育環境整備を推進させるために、市内小学校3校に設置している校内適応教室『ほっとルーム』の備品及び消耗品を購入しました。 具体的には、『ほっとルーム』で不登校傾向児童がソーシャルスキルトレーニングなどを少人数で行うための「ワークテーブル」、パーティションとホワイトボードを兼ね備えた「パーティションホワイトボード」などです。 これにより、様々な原因で教室に入ることのできない児童が、自分のペースで学習を進めることや、緊張せずのびのびと生活することができ、大変喜ばれております。今後も不登校児童への支援の充実に役立ててまいります。
	寄附額（円）	非公表
(2)	事業	安心して妊娠・出産・子育てができる社会の実現事業
	担当課	子ども家庭支援課
	実施した事業内容	集団への馴染みにくさや苦手さなど、発達に何らかの課題や心配をもつ児童に対して、友達と一緒に楽しむ体験や、体幹を鍛え姿勢保持や集中力向上に繋がる活動を実施するため、『すずっこスクエア』で使用する教具（室内用エアクライミング、大型絵本など）を購入しました。 購入した教具は、『すずっこスクエア』の活動メニューとして利用しています。室内用エアクライミングとメッシュトンネルを組み合わせたアスレチックや、大型絵本の読み聞かせを行い、児童に大変人気があります。 児童が集団生活で大切な力を育めるよう、引き続き『すずっこスクエア』でのソーシャルスキルトレーニング等にご購入品を活用していきます。
	寄附額（円）	1,000,000

3. 総計

寄 附 総 額（公表分のみ）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	単 位
1,100,000	1,000,000		円
寄 附 件 数			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	単 位
4	2		件

4. 重要業績評価指数(KPI)

事業実施のための地域再生計画である、鈴鹿市まち・ひと・しごと創生推進計画の重要業績評価指数(KPI)は、第2期鈴鹿市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標ごとに掲げる目標数値と同じです。
評価の詳細については、資料4のとおりです。

5. 全体評価

事業の評価	本市では令和3年度から新たな地域再生計画「鈴鹿市まち・ひと・しごと創生推進計画」を策定し、地方創生応援税制を利用できる事業を大幅に拡充して制度利用を図っており、令和3年度の寄附件数は4件であった。令和4年度については2件となり、減少したものの、引き続き複数企業から寄附を受け、安心して妊娠・出産・子育てができる社会の実現に向けた事業を実施することができた。その一方で、関連するKPIである「自然動態による人口動態」は前年度の△489人から△903人と大きく減少しており、更なる取組の強化が必要である。 また、地方創生応援税制は、市外企業からの寄附にのみ利用できるため、次年度以降については、市外企業に対しどのように本市の魅力をPRし、実施する事業に共感いただくことができるかが課題となる。
今後の取組方針	寄附に協力いただけるような魅力的な事業案を庁内で募り、本市の魅力とともに、市外企業へ向けて、積極的に情報発信していく。また、次期鈴鹿市総合計画の策定に併せて、地域再生計画「鈴鹿市まち・ひと・しごと創生推進計画」を見直し、更なる地方創生応援税制の活用促進を図っていく。